

地域活動

レポート

久留米市では、「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現を目指し、様々な活動が展開されています。

市内各地で取り組まれている特色ある活動についてご紹介します。



ひがしこくぶふれあい食堂 ～地域のつながりの場～

概要

- 平成27年末、校区社会福祉協議会で校区全体の高齢者が集えるサロンの立ち上げを検討しておられましたが、東京で子ども食堂が始まったという新聞記事が目にとまり、子ども達のための食堂立ち上げを決めたそうです。
- 地域の子供達や高齢者が来られる場所として、ふれあいや交流を目的に活動されています。今年で9年目を迎えられます。
- 平成29年にコミュニティセンターが小学校そばに移転し、多い時は200人近い利用がありました。新型コロナの影響で中断を余儀なくされました。令和4年7月、持ち帰りや学年を制限するなど工夫を凝らし、食堂を再開されました。現在は50～80人くらいの利用があるそうです。



素敵なのれんがお出迎え



調理の様子

地域のつながり

食堂では、校区社会福祉協議会の食事ボランティアを中心に調理、配膳をされています。カレーは甘口と中辛があり、校区社会福祉協議会のふれあい農園で採れたジャガイモや玉ねぎがカレーの具材として使用されることもあります。カレーが余った時には、地域の福祉施設等へおすそ分けすることもあるそうです。

想い

- 退職後、何かしたいと思っていた時に声をかけてもらい、毎月楽しみに参加しています。(食事ボランティア)
- ふれあい食堂を通して地域のつながりや交流が生まれていることや、町内で「カレーのおばちゃんだ!」と声をかけてもらえることが嬉しいです。(ふれあい食堂代表 堀江さん)

メニューはカレー!

ひがしこくぶふれあい食堂

- 【実施主体】 東国分校区社会福祉協議会
- 【開催日時】 毎月1回、原則第3土曜日 11:00～12:30
- 【会場】 東国分校区コミュニティセンター
- 【対象】 小学生とその家族、中学生、高校生、高齢者、障害者
- 【参加費】 子ども100円 おとな200円
- 【その他】 小学校を通じて、チラシを配布 事前申込はなく、当日受付